

第52回九州地区
体育指導委員研修大会

1月30日(土)、31日(日)に、大分県別府市のビーコンプラザで、第52回九州地区体育指導委員研修大会が開催され、九州各県から約2、500人が参加しました。

1日目は、功労者表彰や全国体育指導委員連合会専務理事の園山和夫さんによる基調講演「豊かなスポーツ環境づくりと体育指導委員の役割」がありました。また、「変わりゆく地域スポーツと新たな体育指導委員の役割〜九州各県の若手「体指」の取組から〜」と題してパネルディスカッションがあり、



会場前で参加者全員での記念撮影



パネラーとして発表する石本体指

熊本県の代表として菊池市の石本恵朗体指が発表しました。石本体指は、「菊池市は(合併で)組織が大きくなったので、体指一人ひとりがそれぞれの役割を再確認し、今まで以上に協力し合うことが必要だと思えます」と話しました。体指の役割や総合型地域スポーツクラブについて、さまざまな意見交換が行われました。

2日目は、歓迎アトラクションや特定非営利法人グリーンスポーツ代表ニール・スミスさんによる講演があり、「芝生の力が地域を変える〜イェンダヨ! Greenダヨ!!〜」というテーマで、芝生と土での恐怖の違いや、芝生でスポーツすることの良さを話されました。体指としての在り方を再確認した研修大会でした。

第5回菊池市民スポレク祭

2月14日(日)に、菊池市総合体育館で、第5回市民スポレク祭を開催しました。競技種目は、ドッジビー、アジャタ、ふらばーボールバレーの3種目で、小学生からお年寄りまで、けがもなく楽しく競技することができました。

競技前の準備運動は、楽しい音楽のリズムに合わせてエアロビを行いました。エアロビ経験のない人でも、楽しみながら全身をほぐすことができました。

各種目の上位成績

最初、勝てるかどうか
わからなかったけど、
優勝できてうれしいです!



- ドッジビー
- 1位 七城マヨネーズ
- 2位 七城ダイヤモンド
- 3位 七城メロンファイターズ

3回目の優勝です!
次回も、優勝目指して
出場だ!!



- ふらばーボールバレー
- 1位 加茂川会長
- 2位 ウイン(河原)
- 3位 花房A

5回目にして
初優勝しました!
久しぶりに運動して
疲れました。



- アジャタ
- 1位 菊之池体育会
- 2位 戸崎チーム
- 3位 河原体育会



ドッジビー競技

競技は、10人で100個の玉をできるだけ早く籠に入れてしまいう競技ですが、選手の皆さんは



スポレク祭の体験コーナーでも、ファミリーバドミントンが開催され、たくさんの人が体験しました

ニュー
スポーツ紹介

「ファミリーバドミントン」

ニュースポーツの一つである「ファミリーバドミントン」は、子どもから高齢者までが気軽に楽しめるスポーツとして、バドミントンのルールや用具をアレンジしたスポーツです。簡単なので、ぜひ体験してください。

- 用具 柄の短いラケット、スポンジヘッドの羽根
- コート・ネット バドミントンダブルス用
- 人数 3人対3人
- ・前衛1人(オールラウンド)
- ・後衛2人(ショートサービスラインより前ではプレーできない)
- 得点 ラリーポイント制で、15点3セットマッチです。

ファミリーバドミントンのルール

- ・3人は、ネットに向かって三角形を作るように立ちます。
- ・サービスサイド(サーブ権を持っているサイド)の右側後衛の人が、相手チームの斜め位置にいる後衛にアンダーサーブし、プレー開始です。
- ・サーブレシーブは斜めに対面する後衛が行いますが、その後は誰が打っても良いです。
- ・2打以内で相手コートに返しますが、羽根に触れるのは1人1回までです。
- ・自分のコートに羽根が落ちたり、コート外に羽根を落としたりしたらフォルト(失点)となります。
- ・オーバーネット、タッチネットなどもフォルトとなり、相手の得点となります。
- ・羽根を打った瞬間、打点より羽根が下方へ飛んだときはフォルトとなります。
- ・サーブ権が戻ってきたときに、時計回りにローテーションを行い、ポジションを換えます。



使用するラケットはバドミントンのラケットより少し短いもので、羽根の先にはスポンジ状のボールがついています

とても慣れた様子で競技を行っていました。100個の玉を44秒という速さで入れてしまうチームもあり、他のチームからは溜息が漏れていました。また、最後の1個がなかなか入らず、あきらめムードのチームもありました。みんな真剣ながらも楽しそうに競技をしていました。



ふらばーボールバレー競技

15チームが参加したふらばーボールバレー競技では、若い人からお年寄りまで、みんな楽しくプレーしていました。ふらばーボールバレーのボールは丸くなく、サーブレシーブ以外はワンバウンドさせてからのレシーブとなるので、どこに飛んでいくかわかりません。それを必死でレシーブする姿に、試合会場内では笑いが絶えませんでした。試合に負けても満足そうな選手の顔が印象的でした。



風船バレーは、小学生の女の子が優しく相手をしてくれて、幼い姉妹が喜んでくれました



アジャタ競技

体験コーナー
スポレク祭の競技と平行して、ニュースポーツ体験コーナーを設けました。今回は、ファミリーバドミントン、風船バレー、卓球バレーなどたくさん用意しました。
ファミリーバドミントンは、どのグループも長時間楽しんでもいました。
卓球バレーは昨年に続いてだったので、やり方を覚えている人がいました。
これらのニュースポーツの中から、次のスポレク祭の種目が出るかもしれませんね。